

TPPノ一、原発ゼロ、戦争法廃止、諸要求実現へ！

市民と野党の共闘を発展させよう！

NEC玉川事業場に働くみなさん

「トランプの誕生で世界はどうなるんだ？」「アメリカはTPPを先送りしたが、安倍さんは強行採決で参議院へ回したぜ」「食の安全は豊洲市場で大事さが証明されたし、キッチリ論議するべきだよ」「数に頼った無理押しは許せないわね」「新潟で原発慎重派の県知事が誕生したことは明るい話題かも」「市民の声が届く国政へしたいよなあ」などの会話が交わされています。

新潟県知事選で野党推薦候補が当選

10月に行われた新潟県知事選挙で泉田裕彦知事の原発政策を継承する米山隆一候補が「自民党・公明党」推薦の森民夫候補に6万票余りの大差をつけての当選。7月の鹿児島県知事選でも原発に慎重派の三反園訓氏が現職を破り当選しており、それに続く反原発候補の当選です。

原発に頼らないがみんなの思い

選挙戦は柏崎刈羽原発の一刻も早い再稼働を画策する政権与党が、電力会社とその労働組合をも巻き込む、なり振りふり構わずの取り組みでした。

当初は無風選挙かを思わせましたが、選挙戦が進むにつれ米山さんへの支持が広がり、慌てて自民党の幹部が応援へ駆けつけますが後の祭り。新潟県民は、反原発の意思をハッキリと示したのです。

米山さんを応援した社長は「科学の立場では原発の再稼働はあり得ない。安倍政権は、安全だ」「コントロールできている」などウソを言い続けている」と米山さんの当選を喜びました。

野党共闘が政党支持率を覆す

この選挙戦は、自公推薦の森候補と「県民と野党」が共同で推す米山



2016. 11. 14 (月)

No. 852

10の15

日本共産党日電玉川支部

日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>

候補との実質一騎打ちの戦い。政党支持率でみると、自民32%、民進7%、共産2%（選挙戦での朝日新聞世論調査）で、政党の力関係だけでは森候補が圧倒的有利の状況だったのです。保守王国と言われる所以です。



米山陣営は共産・自由・社民党の連携でスタートしましたが、米山さんを勝たせたいと選挙戦へ加わる主婦や経営者などが日毎に増え、民進党も最終盤には野党共闘へ加わる形となり、大逆転勝利を勝ち取りました。

元経済産業省官僚の古賀茂明さんは「野党共闘が原発再稼働反対を盛り込むことで有権者の支持を拡大できた。市民と野党の共闘」を甘く見ると危ない、と自民党も感じたと述べています。

新潟では、先に行われた参議院選挙でも野党統一候補が勝利しました。

野党共闘に背をむけた連合新潟

今回の新潟県知事選で民進党は、米山候補を推薦せず自主投票で臨みました。これは支持母体の連合新潟が自主投票を決定していたためです。

NHKの出口調査では、再稼働反対が73%。今回の選挙結果からは連合職場で働く多く人たちも米山さんへ投票されたことと思われます。

「市民と野党の共闘こそ諸要求実現の道」が示された表れではないでしょうか。職場から「野党は共闘」の声をいつそ高めていきましょ。

市民と野党の共闘をさらに発展させましょ

安倍政権は、11月4日の衆院特別委員会に続き10日の衆院本会議でも環太平洋連携協定（TPP）法案の採決を強行しました。また、「強行採決発言」で謝罪しながら再度「あれは冗談」発言をくりかえした山本有二農水大臣をそのままです。三分の二以上の議席を背景にした暴挙が続いています。

市民と野党共闘は、先の参議院選挙で大きな成果を上げ、鹿児島県知事選、新潟県知事選で素晴らしい成果を勝ち取りました。

市民と野党の共闘をつくりだし、発展させた力は、切実な要求の一致点に基づく「一点共闘」こそを発展させてきた市民のたたかいです。

市民と野党の共闘をさらに発展させ、安倍暴走政治をストップさせていきましょ。

